

国の責任逃れ 絶対に許さない

6月28日に、ネット事務局会議が開かれました。

第1議題は、6月23日の山田農相発言についてです。山田農相は、拡大の責任は「県に第一義的責任」があると発言しました。討議の中で、5月19日に農水省交渉の場で、国の責任を認めたにも関わらず、山田農相の発言は許されるものではない。また、終息もしていないし、原因究明を不十分な状態で発言すべき事でもないと話しました。

山田農相は次のような事も発言しています。

- 口蹄疫対策特別措置法では「基金」を創設するとなっているが、「基金」については、すべての産業に及んでいるので全部はいかない。

《ネットワークの見解》 ほんの一部の産業だけ対象になる危険性がある。

- これからの畜産は環境の問題を考え、農地・用地を確保しないと簡単には認めない。

《ネットワークの見解》 再建希望が70%と言われているが、川南・高鍋・西都などは農地・用地は埋却地に使われたことから、再建に向けての「足かせ」になる危険性がある。

その事を踏まえて第2議題では、口蹄疫対策本部への山田農相発言に対しての抗議と要請を7月2日(予定)に行う事を確認しました。要請には、「口蹄疫110番」で相談のあった方などを一緒に参加してもらい、現場の声をリアルに届けていくことにしました。

第3議題は、「口蹄疫110番」に届いた声が紹介されました。

- 佐土原町で牧草を70ha(自作地20ha/借地50ha)作っているが、移動規制により収入が途絶えている。今後の見通しも経たない状態で融資は借りれない。また、水田利活用自給力向上事業の特例は10a当たり 35,000 円の対象と成りえるのか。
- 6月18日、電話された削蹄師の方が、24日もう一度掛けてこられて、削蹄師の補償を国に要請して欲しいとお願いがありました。

第4議題は「宮崎のお肉を食べて支援」、第5議題は「義援金」について討議が行われました。

口蹄疫義援金

心温まる義援金を賜り、誠にありがとうございます。

団体では千葉農協労連、個人ではサイトウマサコ(通帳振り込みにて、カタカナでのご紹介となっています。ご了承ください)の振り込みがありました。

義援金総額は、212,043円になりました。

新婦人(宮崎県本部)に届いたちぎり絵と絵手紙



口蹄疫対策県民ネットワーク(事務局)

〒880-0911

宮崎市大字田吉158番地

宮崎県農畜組合連合会内

